



## 保護者の正しい知識と見守りが 子どもの安全を守ります

携帯電話をはじめスマートフォン、ゲーム機、音楽プレーヤーなど身の回りには様々なインターネット接続機器であふれています。インターネットの利用は便利で楽しいことばかりではなく、使い方を誤ると犯罪やトラブルに巻き込まれる危険があります。まず子どもに持たせる際には、単に「欲しがるから」「みんなが持っているから」ではなく、本当に必要かどうか、何のために、どのように使うかをきちんと話し合う必要があります。

そのためには保護者が正しい知識を持ち適切な利用を促すとともに、子どもにもインターネット利用に潜む危険を認識させることが重要です。

### フィルタリングの設定は保護者の義務です！

「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（平成29年6月改正）」が施行されました。お子さんが携帯電話を購入する際は **18歳未満であることを必ず伝え**、フィルタリングの設定をしてもらいましょう。

（端末によってフィルタリングの効果や設定が違うため詳しいことは携帯電話会社にご確認ください。）

### ゲーム機もインターネット接続端末です！

ゲーム機は、単に「ゲームをするための機器」という認識があるため、気軽に買い与えてしまいがちです。しかし、今のゲーム機は携帯電話のように通信契約をしていなくても、インターネットへの接続機能がついていれば無線LANの電波が届く環境で、知らない人と一緒にゲームをプレイしたり「チャット」という機能を利用して会話をしたりできます。このため、不特定多数の人とつながりを持ち、出会い系サイトのように実際に他人と会うことも可能な状況です。

ゲーム機もインターネット接続端末の一種ですから、パソコンやスマホと同様のトラブルが起きるものと捉え、フィルタリングサービスやゲーム会社が提供する課金の上限設定などを利用しましょう。



### 事例（中2男子 Aくん）

中学3年生のAくんは、LINEでいくつかのグループに属している。スマホの画面にはメッセージが流れっぱなし。自分が見ていない間にどんな会話が行われているのか、会話についていくのに必死で布団の中まで持ち込んでつい夜中まで。

ついには、体調を崩して、熱心に活動していた部活動も休むようになり、成績も低迷することになってしまった。

AくんにとってLINEのつながりは、学校から帰った後もそのまま現実での人間関係になって継続しており、仲間はずれになってしまうのでは、という思いがやめようという意志をかき消してしまった。



### 事例（被害者 中2女子 B子さん・被疑者 29歳男性）

被疑者はLINE IDを交換する非公式掲示板サイトを介してBさんと知り合い、以降LINEを使用して連絡を取り、Bさんに裸の写真を自撮りさせた上、その画像をメールで送信させた。また、その画像の位置情報から、Bさんの自宅住所を割り出し、つきまとった。



携帯電話  
・ゲーム機

購入する  
前に！！

## 家庭のルールを つくりましょう

### 目に見えるところで利用させましょう

トラブルの時にはすぐ保護者に相談するよう話をしましょう。また、自室などに持ち込ませず、置き場所や使用場所を決め、目の届く範囲で利用させましょう。



### 家庭のルールの例

- ・困ったときはすぐ相談する。
- ・利用する時間帯・場所を決める。
- ・暗証番号は保護者が管理する。
- ・アプリのダウンロードはひとりではない。
- ・サイトに登録するときは、事前に相談する。
- ・お金がかかる場合は事前に相談する。
- ・名前・顔写真、学校名などは書き込まない。
- ・知らない人のメールに返信しない。
- ・月に一度、保護者と一緒に利用状況を確認する。
- ・ルールを破ったら、一時利用禁止にする。



## 我が家のルール

ルール1

ルール2

ルール3

ルール4

ルール5

ルール6

参考サイト  
<http://www.frey.jp/sol/edu/> 「スマホ18の約束」  
参考図書  
「学校や家庭で語り合う スマホ時代のリスクとスキル  
～スマホの先の不幸をブロックするために～」  
竹内 和雄 編 北大路書房



### 保護者がお手本！

### 画面ではなく『子どもを見つめ、見守ること』を大切に

子どもは保護者の姿をお手本にして育ちます。保護者自身も適切なインターネットやスマートフォンの利用を心がけましょう。

なによりも安心して子どもから相談できる関係が問題の早期発見にも繋がります。そのためにも子どもの声に耳を傾け、日頃から親子のコミュニケーションをしっかりと取りましょう。